



STEP 1

「決定の一步目を市民と共有」

① 「市長キャラバン」

(就任時から平成30年11月までに37回開催
-のべ1307名参加)



(事例) 試算約52億円であった新庁舎建設費を「市長キャラバン」で市民の皆さんと再検討。そこでの意見をもとに「新庁舎と隣接する市民交流センターおあしすとの一体的整備」という方向性を打ち出し、庁舎をコンパクトに再設計。結果、庁舎建設費約16億円の削減に成功。内覧会には1000人を超える方々が来場。

② 「どこでも市長」

(就任時から平成30年11月までに40回開催
-のべ915名参加)



(事例) 「どこでも市長」での意見交換を経て、

- ・他所で使用されなくなった遊具(鉄棒・ブランコ)を再利用し公園に設置。
- ・アレルギーを持つ子供の情報を学校と消防署で共有。

③ 「市長とランチミーティング」

(就任時から平成30年10月までに39回開催-のべ234名参加)

(事例)「市長とランチミーティング」で子供達から提案された、

- ・「吉川市の宣伝板」を市内5か所に設置。
- ・給食になまず料理を提供。
- ・水泳大会の開催。



STEP 2

「市民との共動による政策実現」

④ 「市民シンクタンク」

(平成28年度開始-これまでの提言12件。
うち5件採用、5件一部採択、2件検討中)



(事例)「市民シンクタンク」委員からの政策提言により、
・「ベトナム Day」を開催。多文化共生の推進が図られた。提言者は司会等で事業にも参加。
・ひとり親、または両親のいない子供達への直接支援事業「未来への輪」を実施。

⑤ 「みらいステップアップ助成制度」

(平成29年度開始-これまでに10団体に助成金交付)



(事例) 公開プレゼンにより選考。

- ・「ほたる鑑賞会」は、1000人を超える方々が来場し、一大イベントに。また、地元幼稚園の子供達がホタルの幼虫を放流し、成長を見守るなど、環境保全を考える機会も提供している。
- ・その他、「不登校、ひきこもり支援」・「農福連携事業」等に助成。

STEP 3

「市民による情報の発信」

⑥ 「市政動画」

(平成28年度より毎年4本配信)

(概要) 新成人や地元高校生などの若者がナビゲーター役として画面に登場。市の事業やイベントの報告、予算編成・地域防災などについて、わかりやすく解説を行っている。



⑦ 「吉川市情報ラジオ番組★金のなまず」

(平成29年度より毎週金曜日に放送開始。
市民サポートパーソナリティのべ27名)

(概要) 公募による市民サポートパーソナリティが、市の事業やイベントを独自に取材し、情報発信。夏休みには地元中学生もサポートパーソナリティとして参加している。

